臨床検査基準値一覧

検査前管理手順 (添付15-検査案内-3院内項目一覧 第12版)より抜粋

2025年 9月1日版

変更内容

2023年6月1日	関節液検査(2022/4/1)
	FilmArray髄膜炎・脳炎パネル(2022/12/1)
	FilmArray呼吸器パネル(2022/12/1)
	尿定性外観的(色調・濁度)検査追加(2022/12/28)
	尿沈渣測定法変更(2022/12/28)
	Ca測定法変更(2022/12/28)
	CK-Mb測定法,単位変更(2022/12/28)
	髄液細胞数基準値表記変更(2023/1/4)
	亜鉛(Zn)(2023/1/4より院内導入)
	アルカリフォスファターゼ小児基準値追加(2023/2/2)
	葉酸,ビタミンB12(2023/4/1院内導入)
	βDグルカン測定法変更(2023/4/5)
	梅毒RPR定量検査(2023/5/1より院内導入)
2023年12月25日	サイトメガロウイルス核酸定量院内導入(2023/12/20より)
2024年3月1日	末梢血液像(自動法-好中球)基準値訂正
2024年9月20日	SARS-CoV-2抗原(2022/10/24院内導入)
	可用性フィブリン:SF削除(2024/8/1より外部委託)
	テストステロン削除(2024/9/12より外部委託)
2025年4月15日	IL-6削除(2024/12/6より外部委託)
	梅毒TP抗体定量(2025/3/21より院内導入)
	梅毒TP抗体測定法変更(2025/3/24)
	精液検査 削除(2025/4/1より中止)
2025年6月17日	出血時間削除(2025/6/1より中止)
2025年9月1日	髄液Ca、胆汁Na,K,Cl,Ca,Bil,cho,CEA削除
	体腔液LIP,Mg,cho,TG,D-Bil追加
	FPSA, RBP削除(2025/9/1より外部委託)

公立大学法人横浜市立大学附属病院
臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

QP20検査前管理手順添付15-検査案内3から抜粋した基準値表を
臨床検査基準値一覧とし、2020年3月2日版を第1版とする。

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
インフルエンザウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ	3
ＲＳウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ	3
アデノウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液、角結膜ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ	3
Ａ群β溶連菌抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ	3
尿中肺炎球菌抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌ｶｯﾌﾟ 滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ	3
尿中レジオネラ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌ｶｯﾌﾟ 滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ	3
Ｃ．ディフィシル毒素	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器、滅菌ｶｯﾌﾟ	インセイ	3
ロタウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ	3
アデノウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ	3
ピロリ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ・ﾋﾟﾛﾘの便採取容器	インセイ	3
ノロウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ	3
クリプトコッカス抗原	医生物検査室	逆受身ラテックス凝集反応	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ	3
細菌性髄膜炎抗原(肺炎球菌抗原)	医生物検査室	イムノクロマト法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ	3
細菌性髄膜炎抗原(ヘモフィルスb型抗原)	医生物検査室	ラテックス凝集法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ	3
マイコプラズマ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ	3
FilmArray髄膜炎・脳炎パネル	医生物検査室	マルチプレックスPCR	髄液	髄液0.5mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ	3
FilmArray呼吸器パネル	医生物検査室	マルチプレックスPCR	鼻腔ぬぐい液	特になし	専用液入り滅菌ｽﾋﾟｯﾂ(赤ｷｬｯﾌﾟ)、専用綿棒	インセイ	3
Gene Xpert	医生物検査室	リアルタイムPCR法	咽頭ぬぐい液、喀痰・唾液	特になし	専用液入り滅菌ｽﾋﾟｯﾂ(赤ｷｬｯﾌﾟ)、専用綿棒	インセイ	3
グラム染色	医生物検査室	Bartholomew & Mittwer 山中変法	呼吸器、組織、カテーテル、液状検体など	採取可能量	滅菌容器	材料によるため該当なし	1
抗酸菌染色	医生物検査室	・チールネルゼン染色 ・蛍光染色	呼吸器、組織、液状検体など	採取可能量	滅菌容器	陰性	10
気管支肺胞洗浄液	検体検査室(一般部門)	遠心分離細胞数算定細胞分画測定	気管支肺胞洗浄液	BAL 2,3全量	気管吸引用ｷｯﾄ専用ｽﾋﾟｯﾂ	マクロファージ 78.1～97.9% リンパ球 1.7～20.3% 好中球 0.0～2.3% 好酸球 <1% 好塩基球 <1%	1
尿-比重半定量	検体検査室(一般部門)	反射型屈折率測定法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	1.005～1.030	1
尿-ｐＨ半定量	検体検査室(一般部門)	pH指示薬法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	pH4.5～7.5	1
尿-蛋白半定量	検体検査室(一般部門)	pH指示薬のタンパク誤差反応	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1
尿-潜血反応	検体検査室(一般部門)	ヘモグロビン(Hb)のペルオキシダーゼ様作用	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1
尿-白血球反応	検体検査室(一般部門)	白血球のエステラーゼ活性法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1
尿-亜硝酸塩反応	検体検査室(一般部門)	グリース反応	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1
尿-糖半定量	検体検査室(一般部門)	酵素法 (GOD(グルコースオキシダーゼ),POD(ペルオキシダーゼ)法)	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1
尿-アセトン体	検体検査室(一般部門)	アルカリニトロプルシド法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1
尿-ビリルビン	検体検査室(一般部門)	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	－	1

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
尿-ウロビリノーゲン	検体検査室(一般部門)	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	±	1
尿-外観的(色調・濁度)検査	検体検査室(一般部門)	比色測定法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	該当なし	1
尿-沈渣	検体検査室(一般部門)	ア:フローサイトメトリー法 イ:鏡検法	尿	尿10mL	尿ｶｯﾌﾟ	赤血球:≦4個/HPF 白血球:≦4個/HPF	5
尿-蛋白	検体検査室(一般部門)	ピロガロールレッド法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	20～120mg/day	1
μ-ＡＬＢ	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	5.7±2.6mg/日 蓄尿　≦18.6mg/g・Cre	1
尿-Ｎａ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	1.6～5.8g/day(70-250 mmol/day)	1
尿-Ｋ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	1～3.9g/day(25-100 mmol/day)	1
尿-Ｃｌ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	2.5～8.9g/day(70-250 mmol/day)	1
尿-Ｃａ	検体検査室(一般部門)	アルセナゾⅢを使用した化学反応法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	0.1～0.2g/day	1
尿-Ｍｇ	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	0.02～0.16g/day	5
尿-無機リン	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	0.5～1.0g/day	1
尿-尿素窒素	検体検査室(一般部門)	ウレアーゼGLDH法(アンモニア消去法)	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	6.5～13.0g/day	1
尿-クレアチニン	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	0.5～1.5g/day	1
尿-尿酸	検体検査室(一般部門)	ウリカーゼ-POD法(酵素法)	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	0.4～0.8g/day	1
尿-グルコース	検体検査室(一般部門)	酵素法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	40～85mg/day	1
尿-ＮＡＧ	検体検査室(一般部門)	合成基質MPT-NAG法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	M:1.9～8.7 U/day F:1.3～4.5 U/day	1
尿-β_2マイクログロブリン	検体検査室(一般部門)	ラテックス凝集法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	11～253μg/day	1
尿-アミラーゼ	検体検査室(一般部門)	JSCC標準化対応法(Et-G7-PNP法)	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	50～500 U/L	1
尿-ミオグロビン	検体検査室(一般部門)	ラテックス免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	該当なし	10
尿-浸透圧	検体検査室(一般部門)	過冷却氷点降下法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	50～1300mOsm/Kg・H2O	1
尿-ＩｇＧ	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	該当なし	10
尿-亜鉛	検体検査室(一般部門)	比色法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	300～700μg/day	3
尿中乱用薬物	検体検査室(一般部門)	金コロイド粒子免疫法	尿	尿1.0mL	尿ｶｯﾌﾟ	インセイ	3
髄液-比重	検体検査室(一般部門)	屈折計法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	1.005～1.007	1
髄液-細胞数	検体検査室(一般部門)	鏡検法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	≦5/μL　主としてリンパ球	1
髄液-蛋白	検体検査室(一般部門)	ピロガロールレッド法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	10～40mg/dL	1
髄液μ-ＡＬＢ	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	100～300μg/mL (10～30mg/dL)	5
髄液-β2マイクログロブリン	検体検査室(一般部門)	ラテックス凝集法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	0.44～1.24	5
髄液-グルコース	検体検査室(一般部門)	酵素法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	50～75mg/dL	1
髄液-Ｎａ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	130～150mmol/L	1
髄液-Ｋ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	2.5～3.5mmol/L	1
髄液-Ｃｌ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	120～125mmol/L	1
髄液-ＩｇＧ	検体検査室(一般部門)	免疫比濁法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	1～3 mg/dL	1
髄液-ピルビン酸	検体検査室(一般部門)	酵素法	髄液	髄液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	0.63～0.77mg/dL	1

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
髄液-乳酸	検体検査室(一般部門)	酵素法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	13.7～20.5mg/dL (1.52～2.27mmol/L)	1
髄液-ＬＤＨ	検体検査室(一般部門)	IFCC標準化対応法	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	≦25 U/L	1
髄液-ＣＥＡ	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
髄液-αフェトプロテイン	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
髄液-ＨＩＶ　Ａｇ/Ａｂ	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ(S/CO:<1.00)	3
髄液-ＨＴＬＶ-Ⅰ/Ⅱ抗体	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ(S/CO:<1.00)	3
髄液-梅毒ＴＰ抗体	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	インセイ(<10U/mL)	3
髄液－ＭＴＸ	検体検査室(一般部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	髄液	髄液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-比重	検体検査室(一般部門)	屈折計法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	ア浸出液:≧1.018 イ濾出液:≦1.015	1
体腔液-細胞数	検体検査室(一般部門)	鏡検法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	ア浸出液:≧1000個/μL イ濾出液:≦1000個/μL	5
白血球分画	検体検査室(一般部門)	鏡検法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 3.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	設定なし	10
体腔液-蛋白	検体検査室(一般部門)	ビウレット法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液アルブミン	検体検査室(一般部門)	BCP改良法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-グルコース	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-Ｎａ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-Ｋ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-Ｃｌ	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-尿素窒素	検体検査室(一般部門)	ウレアーゼGLDH法(アンモニア消去法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-クレアチニン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-尿酸	検体検査室(一般部門)	ウリカーゼ-POD法(酵素法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-Ｃａ	検体検査室(一般部門)	アルセナゾⅢを使用した化学反応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-無機リン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＲＦ	検体検査室(一般部門)	ラテックス凝集法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＬＤＨ	検体検査室(一般部門)	IFCC標準化対応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＡＬＰ	検体検査室(一般部門)	IFCC標準化対応法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液アミラーゼ	検体検査室(一般部門)	JSCC標準化対応法(Ｅｔ－Ｇ7－ＰＮＰ法)	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液リパーゼ	検体検査室(一般部門)	合成基質比色法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
体腔液-Ｍｇ	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-総コレステロール	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＴＧ	検体検査室(一般部門)	酵素法（グリセロール消去法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-総ビリルビン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-直接ビリルビン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＣＡ１２５	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＣＡ１９-９	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＣＥＡ	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
体腔液-ＡＦＰ	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液1.0mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	該当なし	10
胆渣	検体検査室(一般部門)	鏡検法	胆汁	胆汁3～5mL	滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	少量の粘液、上皮細胞、1～2コ/μLの白血球	1
便-ヘモグロビン	検体検査室(一般部門)	イムノクロマト	糞便:採便容器‘栄研’に便を採取		便ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ	－	3
便-塗抹鏡検(蟯虫卵)セロファンテープ法	検体検査室(一般部門)	セロファンテープ検肛法	肛門の周囲にいる虫卵を接着採取	2日間採取	ﾎﾟｷｰﾙ	－	10
便-集卵法虫卵	検体検査室(一般部門)	ア）集卵法:大島法 イ）浮遊法:硫酸亜鉛遠心浮遊法	糞便	1.0g	滅菌ﾈｼﾞｺｯﾌﾟ	－	10
便-虫体鑑別	検体検査室(一般部門)	鏡検法	糞便	1.0g	滅菌ﾈｼﾞｺｯﾌﾟ	－	10
便-塗抹鏡検虫卵	検体検査室(一般部門)	薄層塗抹法	糞便	1.0g	滅菌ﾈｼﾞｺｯﾌﾟ	－	10
関節液検査	検体検査室(一般部門)	鏡検法	関節液	関節液1.0mL	ヒアルロニダーゼ入り滅菌ｽﾋﾟｯﾂ	－	10
白血球数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	3.3～8.6×10^3/μL	2
赤血球数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:4.35～5.55×10^6/μL F:3.86～4.92×10^6/μL	2
ヘモグロビン濃度	検体検査室(血液部門)	シアンメトヘモグロビン法変法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:13.7～16.8g/dL F:11.6～14.8g/dL	2
ヘマトクリット	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:40.7～50.1% F:35.1～44.4%	2
ＭＣＶ	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	83.6～98.2fL	2
ＭＣＨ	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	27.5～33.2pg	2
ＭＣＨＣ	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	31.7～35.3g/dL	2
赤血球分布幅（ＲＤＷ）	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	11.6～14.2%	2
血小板数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	158～348×10^3/μL	2
平均血小板体積（ＭＰＶ）	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	8.0～11.2fL	2

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
網赤血球数	検体検査室 (血液部門)	ア)ニューメチレンブルー・VCSn法 イ)ブレッカー法（視算法）	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	網赤血球比率:0.5～2.0% 網赤血球数:2.1～9.5×10^4/μL 幼若網赤血球分画:0.22～0.42	5
末梢血液像	検体検査室 (血液部門)	ア)VCSn法 イ)視算法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	自動法 好中球　:　39.6～69.7% リンパ球　:　22.4～51.2% 単球　:　2.7～7.0% 好酸球　:　0.8～9.3% 好塩基球　:　0.4～2.0% 視算法 好中球総数　:　43.5～72.0% 桿状核好中球:　0.0～7.0% 分葉核好中球:　37.5～66.0% リンパ球　:　19.5～47.0% 単球　:　2.2～10.4% 好酸球　:　0.0～6.0% 好塩基球　:　0.0～1.8% 異型リンパ球:　0.0～1.4% 自動法・視算法の絶対数 好中球　:1.6～5.3×10^3/μL リンパ球:1.1～3.1×10^3/μL	5
好酸球数	検体検査室 (血液部門)	VCSn法または視算法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	0.15～0.35×10^3/μL	5
アルカリホスファターゼ染色（ＮＡＰ）	検体検査室 (血液部門)	朝長法変法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	陽性率(rate) 75～95% 陽性指数(score) M:212.2±37.2(156～271) F:254.1±38.2(183～334)	5
ＡＰＴＴ	検体検査室 (血液部門)	凝固時間法（光散乱測光方式）	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	25.0～35.0 sec	4
プロトロンビン時間	検体検査室 (血液部門)	Quick1段法（光散乱測光方式）	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	0.87～1.15 INR	4
フィブリノーゲン	検体検査室 (血液部門)	トロンビン時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	186～385 mg/dL	4
ＦＤＰ	検体検査室 (血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	<5.0μg/mL	1
ＦＤＰ-Ｄダイマー	検体検査室 (血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	≦0.7μg/mL	4
アンチトロンビンⅢ	検体検査室 (血液部門)	合成基質を用いた酵素化学的測定法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 1.8mL	凝固検査管	78～125%	4
血小板凝集能	検体検査室 (血液部門)	透光度法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 10mL	凝固検査管	ADPは最終濃度0.5～1.0μmol/Lでは一次凝集、2.5～5.0μmol/Lで二次凝集を認める。 エピネフリンは0.2～2μg/mL、リストセチンは1～1.2mg/mL、コラーゲンは最終濃度1～4μg/mLで強い凝集を認める。 適性濃度以上の血小板惹起物質を加えても凝集が生じないか、微弱な場合は血小板機能低下と診断され、低濃度または無添加で凝集が生じる(自然凝集)場合は血小板機能亢進と診断される。	5
赤血球沈降速度	検体検査室 (血液部門)	Westergren法	血液(3.8%クエン酸加採血管)	血液 1.6mL	血沈管	M:2～10mm/hr F:3～15mm/hr	1

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
骨髄像	検体検査室 (血液部門)	視算法	骨髄	骨髄液 0.5mL	ED-2K(ﾐｸﾛﾃﾅｰ)	芽球を除く顆粒球系（計） 40.0～50.0% 骨髄芽球 0.4～1.0% 好酸球 1.0～5.0% 好塩基球 0.0～0.4% リンパ球 15.0～25.0% 単球 2.8～5.4% 赤芽球系（計） 14.0～25.0% 前赤芽球 0.0～0.4% その他の赤芽球系 14.0～25.0% M/E比 1.2～3.8	5
ＣＤ４陽性リンパ球	検体検査室 (血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	CD4陽性細胞(CD3+4+) 25.3～57.1%	4
ＣＤ８陽性リンパ球	検体検査室 (血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	CD8陽性細胞(CD3+8+) 17.6～46.0%	4
ＮＫ細胞	検体検査室 (血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	NK細胞(CD3-56+)5.0～30.0%	9
Ｔ細胞	検体検査室 (血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	T細胞(CD3+)47.4～80.8%	9
Ｂ細胞	検体検査室 (血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	末血管ED-2K	B細胞(CD19+)5.2～26.3%	9
ＣＤ34	検体検査室 (血液部門)	フローサイトメトリー法	PBSCH 骨髄・ 臍帯血	各1.0mL	2mL ｾﾗﾑﾁｭｰﾌﾞ	該当なし	10
骨髄有核細胞数	検体検査室 (血液部門)	視算法	骨髄	適量	ED-2K(ﾐｸﾛﾃﾅｰ)	10～25×10^4/μL	5
骨髄巨核球数	検体検査室 (血液部門)	視算法	骨髄	適量	ED-2K(ﾐｸﾛﾃﾅｰ)	50～150/μL	5
クロスミキシング試験	検体検査室 (血液部門)	凝固時間法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液 3.6mL	凝固採血管	該当なし	10
血液型検査	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集法（CAT）または試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 2.0mL	血型採取管 (EDTA-2K管)	該当なし	10
輸血検査 輸血前血液型 不規則抗体 交差適合試験	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集法（CAT）または試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし	5
間接クームス検査	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集(CAT)法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	陰性	5
直接クームス検査	輸血 細胞治療部	試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液 7.0mL	交差ED2K-7管	陰性	5
総蛋白	検体検査室 (臨化免疫部門)	ビウレット法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	6.6～8.1 g/dL	2
アルブミン	検体検査室 (臨化免疫部門)	BCP改良法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	4.1～5.1 g/dL	2
ＣＲＰ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	≦0.14 mg/dL	2
血清アミロイドＡ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<3.0mg/L	3
尿素窒素	検体検査室 (臨化免疫部門)	ウレアーゼGLDH法(アンモニア消去法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	8～20 mg/dL	2
クレアチニン	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:0.65～1.07 mg/dL F:0.46～0.79 mg/dL eGFR:≧60mL/分/1.73m^2	2
尿酸	検体検査室 (臨化免疫部門)	ウリカーゼ-POD法（酵素法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:3.7～7.8 mg/dL F:2.6～5.5 mg/dL	3
アンモニア	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素サイクリング法	血漿(EDTA2K加血)	血液 2.0mL	アンモニア (EDTA-2K管)	12～66 μg/dL	2
Ｎａ	検体検査室 (臨化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	138～145mmol/L	2
Ｋ	検体検査室 (臨化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	3.6～4.8 mmol/L	2
Ｃｌ	検体検査室 (臨化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	101～108 mmol/L	2
Ｃａ	検体検査室 (臨化免疫部門)	アルセナゾⅢを使用した化学反応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	8.8～10.1 mg/dL	2

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
Ｍｇ	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	2.0～2.4 mg/dL	7
無機リン	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	2.7～4.6 mg/dL	2
インスリン	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	1.84～12.2 μU/mL	6
グルコース	検体検査室 (臨化免疫部門)	GOD固定化酵素酸素電極法	血漿(フッ化Ｎａ管)	血液 2.0mL	ﾌｯ化Na管	73～109 mg/dL(空腹時)	2
ヘモグロビン-A1C（ＮＧＳＰ）	検体検査室 (臨化免疫部門)	HPLC法	血液(フッ化Ｎａ管)	血液 2.0mL	ﾌｯ化Na管	4.9～6.0% (NGSP値)	2
クレアチンキナーゼ	検体検査室 (臨化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:59～248 U/L F:41～153 U/L	2
ＣＫ-ＭＢ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法（蛋白量測定）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<5 ng/mL	1
ＡＳＴ（ＧＯＴ）	検体検査室 (臨化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	13～30 U/L	2
ＡＬＴ（ＧＰＴ）	検体検査室 (臨化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:10～42 U/L F:7～23 U/L	2
乳酸脱水素酵素	検体検査室 (臨化免疫部門)	IFCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	124～222 U/L	2
アルカリフォスファターゼ	検体検査室 (臨化免疫部門)	IFCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	男児(U/L) 女児(U/L) 0ヶ月 186～564 186～564 1ヶ月 179～567 179～567 3ヶ月 168～567 168～567 6ヶ月 147～553 147～553 1歳 138～469 138～451 2歳 144～438 144～403 3歳 147～420 147～396 6歳 154～431 161～438 12歳 159～525 105～483 15歳 95～420 54～315 16歳～ 38～113 (男女共通)	2,10
γ-ＧＴＰ	検体検査室 (臨化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:13～64 U/L F:9～32 U/L	2
アルドラーゼ	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	2.2～4.7 U/L	7
コリンエステラーゼ	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法(p-ヒドロキシベンゾイルコリン法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:240～486 U/L F:201～421 U/L	2
アミラーゼ	検体検査室 (臨化免疫部門)	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	44～132 U/L	2
リパーゼ	検体検査室 (臨化免疫部門)	合成基質比色法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	14～54 U/L	7
乳酸	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血漿(フッ化Ｎａ管)	血液 2.0mL	乳酸ﾋﾟﾙﾋ管 (ﾌｯ化Na管)	4～16 mg/dL (0.44～1.78mmol/L)	1
ピルビン酸	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血漿(フッ化Ｎａ管)	血液 2.0mL	乳酸ﾋﾟﾙﾋ管 (ﾌｯ化Na管)	0.3～0.9 mg/dL(文献値)	1
血清浸透圧	検体検査室 (臨化免疫部門)	過冷却氷点降下法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	275～290 mOsm/Kg･H2O	1
鉄	検体検査室 (臨化免疫部門)	Nitroso-PSAP直接法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	40～188 μg/dL	2
ハプトグロビン	検体検査室 (臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	19～170 mg/dL	3
トランスフェリン	検体検査室 (臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:190-300 mg/dL F:200-340 mg/dL	1
β２-マイクログロブリン	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	0.80～2.00μg/mL	1
ミオグロビン	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<70 ng/mL(2009年9月より)	3
フェリチン	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:25～280 ng/mL F:10～120 ng/mL	1
総ビリルビン	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	0.4～1.5 mg/dL	2
直接ビリルビン	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	0.0～0.3 mg/dL	7
総コレステロール	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	142～248 mg/dL	2
中性脂肪	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法（グリセロール消去法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:40～234 mg/dL F:30～117 mg/dL	2
ＨＤＬコレステロール	検体検査室 (臨化免疫部門)	選択的抑制法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	M:38～90 mg/dL F:48～103 mg/dL	2

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
ＬＤＬコレステロール	検体検査室(臨化免疫部門)	選択的可溶化法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	65～163 mg/dL	2
カルバマゼピン	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
フェノバルビタール	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法□	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
フェニトイン	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
バルプロ酸	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
ジゴキシン	検体検査室(臨化免疫部門)	イムノアッセイ法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
テオフィリン	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫凝集阻害法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
バンコマイシン	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
メトトレキサート	検体検査室(臨化免疫部門)	CLIA法（化学発光免疫測定法）	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	該当なし	10
シクロスポリン	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素免疫測定法	血液（EDTA2K加血）	血液2.0mL	血中薬物ED-2K	該当なし	10
タクロリムス	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素免疫測定法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	血中薬物ED-2K	該当なし	10
アルコール	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素法（ADH-UV系）	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	<10mg/dL	5
高感度ＴＳＨ	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	0.500～5.00 μIU／mL	3
遊離Ｔ３	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	2.3～4.0 pg/mL	3
遊離Ｔ４	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	0.90～1.70 ng/dL	3
ＢＮＰ	検体検査室(臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	EDTA血漿	血液2.0mL	内分泌ED2K	≦18.4 pg/mL	3
ＩｇＧ	検体検査室(臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	861～1747 mg/dL	2
ＩｇＡ	検体検査室(臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	93～393 mg/dL	2
ＩｇＭ	検体検査室(臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	M:33～183 mg/dL F:50～269 mg/dL	2
ＩｇＥ	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	<300 IU/mL	4
Ｃ３	検体検査室(臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清□	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	73～138 mg/dL	2
Ｃ４	検体検査室(臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	11～31 mg/dL	2
ＣＨ５０	検体検査室(臨化免疫部門)	Mayer法相対比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	30.0～46.0 U/mL	1
リウマチ因子（定量）	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	≦15 IU/mL	5
ＭＭＰ-３	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	M:36.9～121.0 ng/mL F:17.3～59.7 ng/mL	3
ＣＥＡ	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	0.6～3.8 ng/mL(2004/7/21より)	4
αフェトプロテイン	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	1～7 ng/mL(2004/7/21より)	4
ＣＡ１２５	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	M:6～19 U/mL(2004/7/21より) F:8～36 U/mL	4
ＣＡ１５-３	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	<25 U/mL	6
ＣＡ１９-９	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	M:1～29 U/mL(2004/7/21より) F:1～37 U/mL	4
ＳＣＣ抗原	検体検査室(臨化免疫部門)	CLIA法（化学発光免疫測定法）	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	≦1.9 ng/mL	3
ＰＳＡ	検体検査室(臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	ﾌﾞﾚｲﾝ管	ア 加齢により上昇する。 40代：2.0、50代：3.0、 60代：4.0、70代：5.0、 80代：6.0ng/mL イ PSA値(タンデム)：4ng/mLがカットオフ値	1

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
ＣＹＦＲＡ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	参考基準値：<2.8ng/mL カットオフ値：3.5ng/mL（肺良性疾患を対象としたROC曲線より算出）	3
β-Dグルカン	検体検査室 (臨化免疫部門)	発色合成基質法	血漿(ヘパリンNa入り滅菌採血管)	血液 3.0mL	β-グルカン	<11.0pg/mL(カットオフ値)	9
梅毒ＲＰＲ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス凝集免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	定性・定量ともに インセイ(R.U；<1.0)	3
梅毒ＴＰ抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス凝集免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	定性・定量ともに インセイ(R.U；<10.0)	3
ＨＢｓ抗原	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(<0.05IU/mL)	3
ＨＢｓ抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(<10mIU/mL)	3
ＨＢｃ抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(S/CO:<1.00)	3
ＨＢｅ抗原	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(S/CO:<1.00)	3
ＨＢｅ抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(%Inh:<50)	3
ＨＣＶ抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(S/CO:<1.00)	3
ＨＴＬＶ-Ⅰ/Ⅱ抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(S/CO:<1.00)	3
ＨＩＶ　Ａｇ/Ａｂ	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	インセイ(S/CO:<1.00)	3
ＨＣＶ-ＲＮＡ(定量)	検体検査室 (臨化免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ:LogIU/mL	3
ＨＩＶ-１ＲＮＡ(定量)	検体検査室 (臨化免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ:コピー/mL	3
ＨＢＶ－ＤＮＡ(定量)	検体検査室 (臨化免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ:LogIU/mL ケンシュツセズ:Logコピー/mL	3
サイトメガロウイルス核酸定量	検体検査室 (臨化免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液 9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ:IU/mL	3
ＫＬ-６	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<500U/mL（カットオフ値）	3
ＨＣＧ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	ア）F(非妊婦)：≦3mIU/mL イ）F(閉経後)：≦6mIU/mL ウ）M:≦2mIU/mL	3
ＰＩＶＫＡⅡ	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<40mAU/mL	3
ＩＣＧ試験	検体検査室 (臨化免疫部門)	生食法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	15分血中停滞率(R)0-10% 血中消失率(K)0.168～0.206 但し臨床検査部の結果値はmg/dLの濃度として表示されている	1
トロポニンＩ	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	≦26.2pg/mL	3
プロカルシトニン	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<0.05 ng/mL	3
トランスサイレチン	検体検査室 (臨化免疫部門)	免疫比濁法(TIA)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	22～40 mg/dL M:23～42mg/dL F:22～34mg/dL	3
可溶性ＩＬ－２レセプター	検体検査室 (臨化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	145～519　U/mL	6
ＡＣＴＨ	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	EDTA血漿	血液 2.0mL	内分泌ED2K	7.2～63.3 pg/mL	3
Ｃペプチド	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	0.8～2.5 ng/mL	3
ＰＴＨインタクト	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	15～65 pg/mL	3
グリコアルブミン	検体検査室 (臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	11.0～16.0%	5
コルチゾール	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	EDTA血漿	血液 2.0mL	内分泌ED2K	7.1～19.6 μg/dL	3
ＴＳＨレセプター抗体	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<2.0 IU/L	3
サイログロブリン	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	≦33.7 ng/mL	3

院内項目一覧

横浜市立大学附属病院臨床検査部・輸血細胞治療部・病理部

検査項目	検査室	検査方法	材料	採取量	容器	基準値	出典元
ＭＰＯ－ＡＮＣＡ	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLEIA法（化学発光酵素免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<3.5 U/mL	3
ＰＲ３－ＡＮＣＡ	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLEIA法（化学発光酵素免疫測定法）	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	<3.5 U/mL	3
ＩｇＧ４	検体検査室 (臨化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	11～121 mg/dL	8
リチウム	検体検査室 (臨化免疫部門)	吸光光度法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	該当なし	10
亜鉛（Ｚｎ）	検体検査室 (臨化免疫部門)	比色法	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	80～130μg/dL	1
葉酸	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	≧3.1ng/mL	3
ビタミンＢ１２	検体検査室 (臨化免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液 1.0mL	ﾌﾟﾚｲﾝ管	187-883pg/mL	3
SARS-CoV-2抗原	検体検査室 (臨化免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	鼻咽頭ぬぐい液、又は鼻腔ぬぐい	特になし	前処理液入り滅菌ｽﾋﾟｯﾂ(青ｷｬｯﾌﾟ)	インセイ(COI：<0.8)	3
血液ガス	検体検査室 (臨化免疫部門)	pH:電位差測定法 pCO2:電位差測定法 pO2:ｱﾝﾍﾟﾛﾒﾄﾘｯｸ法	血液	血液 1.0mL	血液ガス	該当なし	5

＊出典元
1　臨床検査法提要
2　共用基準範囲
3　試薬添付文書
4　院内職員検診
5　文献値
6　SRL基準値
7　市民医療総合センターが測定した値
8　山口大学、信州大学共同研究データ
9　院内検討
10 該当なし

＊出典元の詳細は各項目SOPに記載